

# はばたけ

第70号

2006年1月1日発行  
栃木障害者の自立をめざす会  
会長代行 小島 幸子  
事務局：〒328-0003  
栃木市大光寺町 347-2  
TEL 0282-29-6111

私たちは障害者が生まれた地域で生き生きと働き生活していける村作りをめざします。

## 新年のあいさつ

会長代行 小島 幸子

新年あけましておめでとうございます。

昨年も皆様方のおかげで、大過なく活動させていただいたことを改めてお礼申し上げます。

恒例の妙唱寺大黒天を皮切りに栃木夏まつり、協働まつりのなかでのふれあいのつどいなどでは貴重な会の運営資金を得ると同時に自立をめざす会の活動をPRすることができたと自負しております。年末のクリスマス会では、ウクレレやフラダンス、オカリナ演奏の方々のご協力をいただき、なすびの里の仲間たちをはじめ養護学校の子供たちにもとても喜んでもらいました。みんなの笑顔を見ていると、この笑顔がずっとずっと続けられるようにこの運動を進めていかなければと改めて決意した次第です。

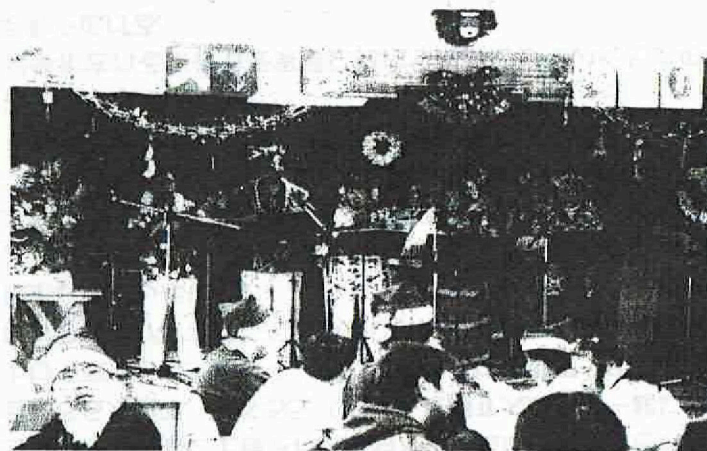
さて皆さん、ご承知のとおり来年度はいよいよ障害者自立支援法施行の年です。今つくづく思うことは、これで本当に措置の時代は終わったということです。行政におまかせの時代は終わりました。自分たちの子供がどういう風に育ってほしいか自らが考え、行動をおこし汗を流すことが必須になってきました。私たちの先輩はその必要性に気づき、栃木障害者の自立をめざす会を設立しました。今年 はめでたくも設立20周年記念式典を行うことになっています。4月29日のよき日、栃木市文化会館での記念講演、その後サンルートで祝う会を行う予定です。20周年の節目を皆さんとともに祝い、設立当時の初心を思い起こし、今まで支援いただいた方々に感謝の気持ちを伝えたいと思っております。また、思いを新たに活動を進めていく機会にしたいと考えています。

皆様、どうぞ今年も自立をめざす会をよろしく願います。皆様と一緒に一歩一歩ではありますが、障害者があたりまえに暮らしていける地域をめざしていきたいと思っております。簡単ではありますが、年頭の挨拶とさせていただきます。

栃木障害者の自立をめざす会主催

# クリスマス会

後藤 彰仁



平成17年12月11日(日)なすびの里にて、自立の会主催のクリスマス会が100名を越す出席者のもと盛大に開かれました。

保護者やボランティアの方々による手作りの料理とともに、オカリナ演奏・フラダンス・ケーキ作り・抽選会など盛りだくさんの企画がありました。

ケーキ作りは各テーブル思い思いに飾りづけをし、おいしそうに出来上がりました。

最後には、サンタさんから仲間・参加者にプレゼントが手渡され、抽選会を行い、プーさんの大きな人形やドラえもん・折りたたみ自転車などが、景品として当選者に配られました。



## なすびの里後援会栃木障害者自立をめざす会の運動の推進は 社会福祉法人なすびの里事業活動の成功の保障。

中山全央

前号で私自身の不退転の決意で、社会福祉法人なすびの里の事業活動を遂行する決意を表明しました。是非とも、困難を乗り越え命が費えるまで健康でがんばりたいと願っています。しかし、施設建設の成功とともに、今まで各種事業活動を推進するに当たって、一部不団結が見受けられるようになりました。障害者自立支援法の成立と、まだまだ続く障害者の社会的自立を推進する上でも、こうした問題を克服することが大切と感じていますので、ご批判を省みず意見を述べさせていただきます。

【社会福祉法人には後援会である栃木障害者の自立をめざす会の組織強化が必要。】

栃木障害者の自立をめざす会は、20年の歴史の中で保護者・教職員・趣旨を理解していただいた支援者が中核となって運動を推進して来ました。幅広く、各階層に会員の拡大しましたので、事業活動の成功も、多くの支援者と団結した結果でした。資金の流れは、保護者会は施設利用の仲間たちの直接的な処遇支援、自立をめざす会は事業活動を成功させ施設建設と共同作業所の運営を担うことが決定されていました。事業活動資金は自立をめざす会が管理をすることが決定され、施設建設時に寄付金を含め、4500万円余に及ぶ資金が確保できた訳です。しかし、施設建設後事業活動を深く理解する機会が、会員、施設を利用する保護者、教職員に保障されず、この活動の停滞が見られ会員の中に、退会される方の数が増加したり、不団結が発生しています。その原因は、詳細があるのですが、仲間の幸せを願うものからすれば、大同小異、是非とも、法人の事業活動の成功のためにすべての方々が方針に団結して、次の活動に参加してほしいと願っています。

私は、当然障害者運動は、個人の名声や、個人に利のあることはないと考えています。法人に通う仲間の幸せや、地域で生活をする障害者の支援をいかに保障するか、ただこれだけのことです。この活動は、奉仕の部分が多く、運動の中核となる役員や、施設職員には金銭的支援は乏しく、聖職者のような精神的、肉体的な負担のみが強いられると理解しています。其の対価は障害者の日常の支援の中で、悩みを相談され解決できた喜びと、ともに過ごす喜びです。是非とも、この喜びを享受できるよう次のことを訴えます。

・会員の拡大を継続的に推進をしよう。

- ・会報を定期発行しまだまだ続く障害者諸問題を会員に広げ支援をいただこう。
- ・事業活動を成功させて、社会福祉法人なすびの里事業推進の保障である資金の確保をしよう。
- ・集団的討議を定例化し、総会や役員会を成功させよう。
- ・学習の機会を確保しよう。
- ・専従事務局員の設置を早期に実現できるような準備をしよう。

## 新しい障害者運動の幕開け

～2006年は本当の自立をめざす運動のスタート～

渡部 真江

私が利用者に話しをする時は、あまり歓迎する話してないことが多いことは皆よく知っています。作業手当を支給する日は「仕事のことが給料のこと」、そうでない時は「きょうされんのはなし」と決まっているからです。

障害者自立支援法が国会に上程された2月から、私たちきょうされんに加盟する会員は、全国66カ所で、延べ55,000人を越す人たちと一緒に反対と継続審議の声を上げて来ました。そして、その取り組みは各地で今までよりも幅広い共同の輪を広げることができました。しかし、障害を持つ人々の権利侵害ともいえる自立支援法は成立しました。

今わたしたちに求められているのは、「法は認めても、法の誤りは認めない」を基本に、障害を持つ人たちの自立と社会参加をすすめる上で、どうこの局面を乗り越えていくかということです。具体的には、以下の3点です。

- ① 第29次国会請願署名・募金を通じ、「法の誤り」である応益負担制度の見直しを知らせていく。
- ② 今後具体化される政省令を実態に見合う内容にしていくための学習会や要望活動を広げる。
- ③ 2005年4月から開始される利用者負担（応益負担）による影響を具体的な数字を例に上げ知らせていくことです。この先2年の間、応益負担が導入されることで利用者の生活やサービス利用がどう変化するか継続的なチェックを行い、実態把握も必要となります。

猛スピードで実施に向け動き出している政省令ですが、当面の活動と、中長期の運動をしっかりと見つめ、見極め、的はずさない運動を皆さんの創意と力を出し合って束ねていきたいと思えます。本当の自立をめざす新しい障害者運動が始まります。

# 第19回ふれあいのつどい

川俣 禎康

10月23日(日)に栃木市総合運動公園にて、2005 とちぎ協働まつりが行われました。

今までは市民まつりと健康まつりとふれあいのつどいで別々で行われていましたが、今年からはまとめて一つになり開催されました。

まつりはエリアごとに分かれ、文化のエリア、ふれあいのエリア、ふれあいの集いのエリアなどがありました。ウォーキング大会も8kmと16kmがありました。体育館内では分科会もありました。

第19回ふれあいのつどいも同時におこなわれ、今年は場所が約10年ぶりに栃木市総合運動公園でした。

今年は人出が多く、久しぶりにふれあいのつどいは賑わって、模擬店、作品展示販売、フリーマーケット、体験コーナー、遊びのコーナーも混み、ほとんど完売しました。

自立の会は、恒例の、わたあめ、もち、イモフライ、フリーマーケットを出店し完売しました。わたあめは、行列し20人ぐらいで、過去最高でした。

いろんな、イベントでは、竹細工、福祉車両の展示、市民フォーラム、などが開催されました。

協働まつりと一緒に開催し、実行委員会の仕事の量が多く、大変になりましたが、月1回の会議で、何とかやり成功しました。

## 栃木障害者の自立をめざす会設立20周年記念事業

今年は、自立の会にとって設立20周年となる記念すべき年にあたります。ここまでの活動を振り返り、また新たな活動の出発点とすべく20周年記念事業を行うこととしました。昨年より役員会を中心に実行委員会を組織し、内容等について討議してきました。具体的には以下のとおり、記念式典・記念講演・記念パーティー・記念誌の発行を考えています。障害者自立支援法が施行され、障害者を取り巻く環境が大きく変わろうとしている今、自立の会の活動をさらに広げていく機会になればと願っています。会員の皆様のご協力をぜひお願いいたします。

### □記念式典・記念講演

4月29日 午後1時から栃木市文化会館小ホールにて  
式典においては、今までお世話になった方を表彰する。

記念講演講師一きょうされん藤井常務（講演内容は打ち合わせ中）

### □記念パーティー

4月29日 午後5時からホテルサンルートにて

### □記念誌発行

20年にわたる自立の会活動を年表にまとめ掲載する。

機関紙はばだけは全号を縮小版とし掲載する。

写真・新聞報道記事等を掲載する。

## 今後の行事予定

1月14・15日 妙唱寺大黒天

1月28日 なすびの里仲間発表会

## 収益事業報告

お手伝いいただいた皆さん、大変ご苦勞様でした。

夏季物品販売	69,659円
ジャスコ夏祭り(8月12~13日)	15,100円
しらさぎまつり(9月11日)	23,871円
ふれあいのつどい(10月23日)	164,940円
小江戸ふるさとまつり(11月5日~6日)	45,285円

### 編集後記

みなさん、あけましておめでとうございます。今年もはばたけをどうぞよろしく。今年は設立20周年だそうで、かなり前から記念事業の話は出てたけど、なんか大変そうだから余り触れないようにしてたら、ついにそうもいなくなってきて年末あたりからがんばっております。当然はばたけ担当は、記念誌の編集係。予算とスタッフはごく僅かで、立派なものを作れという指令に頭を悩ませています。というわけで、貴重なお写真、とっておきのエピソードをお持ちの方、ぜひ事務局までご一報を！はばたけの第34号・35号をお持ちの方もご連絡ください。(高値で引き取らせていただきます?)